



平成 25 年 6 月 28 日

各 位

会 社 名 燦キャピタルマネージメント株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 前田 健司
(コード番号:大証JASDAQ2134)
問 合 先 取締役 経営管理本部 本部長 桐島 悠爾
(TEL. 06-6205-5611)
U R L <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp/>

「債務超過による猶予期間入り」に関するお知らせ

当社は、本日、有価証券報告書を提出し、平成25年3月期（第21期）決算において債務超過となったことから、本日の株式会社大阪証券取引所発表のとおり、「JASDAQにおける有価証券上場規定」第47条第1項3号（債務超過）に該当し、上場廃止に係る猶予期間入り銘柄となりましたのでお知らせいたします。

1. 対象となる法定開示書類

有価証券報告書（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

2. 債務超過となった経緯

当連結会計年度において当社グループでは、上場以来の中核事業である地方の不動産を中心とした事業展開をより深耕させ、シナジー効果を活かしながら事業自体をも投資対象とした投資事業及び投資マネージメント事業への事業のリストラクチャリング（再構築）を図ってまいりました。

次期以降の将来の収益につながる成果を上げることができたものの、販売費及び一般管理費等を吸収できる程までには売上を計上するには到りませんでした。また、当社資金確保の観点から、子会社及び関係会社売却したことにより、関係会社株式売却損及び事業整理損を計上、更には個別債権の貸倒引当金及び事業損失引当金並びに減損損失の計上が重なり、当連結会計年度において、営業損失230百万円、経常損失275百万円、当期純損失1,466百万円を計上した結果、101百万円の債務超過となりました。

3. 猶予期間

平成25年4月1日～平成26年3月31日

4. 今後の見通し

「平成25年3月期 決算短信」にて発表しておりますとおり、平成26年3月期につきましても、



Sun Capital Management Corp.
燦キャピタルマネージメント株式会社

安定した収益の確保、コスト削減及び資産の売却により安定した経営を図ってまいりますが、新たな業務提携先である株式会社兵庫宝不動産をはじめとした業務提携先との新規取組み、及び既存事業の活性化等による利益の維持・確保が不可欠であります。

また、平成26年3月期中に個別債権の貸倒引当金及び事業損失引当金等の早期解消に取り組み、更には財務体質の強化のため、資本政策についても、同じく平成26年3月期中に事業展開に応じた資金調達の検討および交渉を行い、それぞれ確実に実行することをもって、債務超過の解消を図りたいと存じます。

以上